

令和2年1月

魚津市定例記者会見



日時：令和2年1月6日（月） 午後1時30分～午後2時15分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK、KNB、BBT、チューリップテレビ、NICE TV

市当局出席者：市長、副市長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長、
教育委員会事務局次長、企画政策課長、生涯学習・スポーツ課長
立山黒部ジオパーク協会理事 金子一夫博士
魚津市市史編纂室 麻柄一志

1. 新年あいさつ

- ・あけましておめでとうございます。昨年中は、魚津市政や地域の情報を色々と取り上げていただき、ありがとうございました。本年も積極的に様々な情報を発信していきたいと思っておりますので、引き続きお願いを申し上げます

2. 市長からの発表事項

(1) 「深海生物シンポジウム」を開催します

- ・魚津水族館と県が連携協力して調査・研究を進めている「富山湾の深海魚調査研究事業」の一環として、県と市の共催によりシンポジウムを開催（2/2）
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

(2) 魚津市星の杜小学校新築事業竣工式の実施について

- ・学童保育室を整備した西棟及びグラウンド改修工事が完了する見込みとなった。
1月21日（火）に竣工式を開催する。
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

(3) うおづマルシェ in 損保ジャパン日本興亜日本橋ビルの開催

- ・魚津市と損害保険ジャパン日本興亜株式会社とは、令和元年9月18日に包括連携協定を締結。この協定に基づく取組として、1月17日（金）に東京日本橋で「うおづマルシェ」を開催する。
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

(4) 魚津市平沢の太美山層群の年代が 7000 万年前と判明

—恐竜などの絶滅前の地層であることから恐竜化石の発見が期待される—

- ・魚津市自然市史編纂事業の一環として、市内山間部に分布する太美山層群の年代に関する調査・研究を、魚津市史編纂委員金子一夫（立山・黒部ジオパーク協会理事）、及び富山大学理学部大藤茂教授に委嘱した。

その結果、魚津市平沢等の太美山層群は従来考えられていた新世代古第 3 紀でなく、中世代白亜紀の恐竜絶滅直前の地層であることが判明した。

（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

3. 教育委員会及び各部長からの説明事項

〈企画総務部長〉

- ・魚津市・黒部市合同移住セミナー（1/15）
- ・雪道ドライビング講習会（1/24）

（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

〈民生部長〉

- ・マイナンバーカードの臨時窓口（1/25）
- マイナンバーカードの臨時サポート窓口（1/26）

（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

〈産業建設部長〉

- ・つくるUOZUプロジェクト「UOZUゲームフォーラム2020」（1/18）
（プロジェクトへの参加から、ゲームの一般発売に至ったクリエイターの講演会を初開催）

（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

3. 質疑応答の内容

「魚津市長選挙と県知事選について」について

《記者からの質問》

魚津市長選挙への意気込みと、保守が二分するのではないかとされている県知事選について、どのように見ているかを聞かせてほしい。

《回答》（市長）

魚津市長選挙への意気込みについては、議会などでもお答えをしているが、まずは、昨年末に策定した財政健全化計画を着実に進めることに全力をあげたいと思っている。そのうえで、新しい市総合計画を立てていく作業を財政健全化の取組と同時並行で行う。新しい総合計画には魚津の魅力や良さを、市民や企業と一緒に盛り上げて

いけるような取組をしっかりと盛り込んでいきたいと思っている。そういった目標を掲げて皆さんに呼びかけていきたいと思っている。

県知事選挙については、お一人は出馬を表明されましたが、お一人はまだ表明されていないので、コメントは控えさせていただきたいと思う。

《記者からの質問》

あらためて、知事にふさわしい人物像について聞かせていただきたい。

《回答》（市長）

変化の激しい時代であるので、新しい変化に対応する力が必要である。逆にいうとしっかりとしたベースがないと新しい変化に対応できないと思うので、その両面を兼ね備えている必要があると思っている。

「深海生物シンポジウム」について

《記者からの質問》

プレスリリースにはないが、深海生物シンポジウムは無料か。

《回答》（市長）

無料である。

「うおづマルシェ」について

《記者からの質問》

「魚津印のうまいもん」は既に選定されているのか。

《回答》（市長）

まだである。

《記者からの質問》

プレスリリースに「魚津印のうまいもん」のマークが記されている意味はなんなのか。

《回答》（企画政策課長代理）

「魚津印のうまいもん」については、まだ選定作業を行っていない。現在は、海の駅蜃気楼でテストマーケティングを行っており、周知していく段階である。一部商品には、魚津印をつけて販売を行いたいと思っている。

《記者からの質問》

今回販売予定の約 30 品目については、魚津印をつける予定か。

《回答》（企画政策課長代理）

一部商品には魚津印を付けられると思う。業者、メーカーが色々あるので、そのメーカーと話しをしたうえで、了解を得られた品物については魚津印をつけて販売していきたいと考えている。

《記者からの質問》

シール（魚津印）を付ける権限はどこにあるのか。

《回答》（企画政策課長代理）

今は、まだ認定されていないので、魚津施設管理公社とメーカーとの話し合いでシール（魚津印）を付ける。

「太美山層群」について

《記者からの質問》

大学と民間と行政の3者が協力してとのことだが、魚津市からお金は出ているのか。

《回答》（魚津市市史編纂室）

年代測定（一回）として、35万円支出している。

《回答》（立山黒部ジオパーク協会理事 金子一夫博士）

現在、年代測定に使うヘリウムガスがものすごく高騰している。ヘリウムは石油からとれるため、現在、イラン・イラクなどからしか入ってこない。アメリカは放出したがない。今回の魚津市からのお金は大変助かった。

《記者からの質問》

恐竜絶滅直前という恐竜がかなり大型化していた時代だと思うが、やはり大型恐竜の発見の期待が高まるのか。

《回答》（立山黒部ジオパーク協会理事 金子一夫博士）

巨大化するのと同時に、非常に種類が多くなる時代である。有名なところではトリケラトプスなどである。河川の堆積物など礫が多くあるようなところを注意してみれば、可能性は高まってくるのではないかと思っている。

「雪道ドライビング講習会」について

《記者からの質問》

募集定員が20名とあるが現在何人の申し込みがあるか。

《企画総務部長》

現在のところ、20名の定員に対して、黒部市4名、魚津市0名で計4名である。雪がない場合も、講習があるので講習会は開催される予定である。

「マイナンバーカードの臨時窓口」について

《記者からの質問》

マイナンバーカードの申請数が伸びないため、公務員は取得するよという話があり、取得しない者は理由を述べよという指示が出されたとのニュースが少し前にあった。魚津市でもそのようなことはあったのか。今回、この臨時窓口を開設というのは、申請数を増やすために、国から指示なり要請があったのか。

《民生部長》

マイナンバーカードについては、国家公務員や地方公務員は、共済組合の健康保険証の関係でマイナンバーカードがセットになっているので取らなければならない状況になっている。職員にはスムーズな保険証の移行のために、扶養家族を含めマイナ

ンバーカードを取得するようになっていないからといって理由を述べよということはない。

今回、市で臨時窓口を開設にあたっては、国の政策で令和4年度までにほとんどの方がカードを取得するという方針が定められており、各市町村にも、マイナンバーカードの取得を円滑に進めるために、円滑化計画の提出するようにと指導が来ている。これについては、ほとんどの市町村が今の取得率の倍増を目指すように指示がきている。魚津市は現在のところ取得率が低調なので、なるべく皆さんが取得しやすいような環境を整えるために、今回、土曜日を開庁するものである。

《記者からの質問》

魚津市の取得率を教えてください。

《回答》（民生部長）

魚津市の取得率は11月末の締めでは9.95%である。ちなみに富山県内では氷見市の取得率が高く17.54%である。魚津市の職員の取得率は30%程度である。

《記者からの質問》

報道で、消費増税に伴う経済対策としてのポイント制度で、マイナンバーカード早く持っていないとポイントを受けられないものがあると聞いた。その要因は今回の対策に加味されているのか。

《回答》（民生部長）

現在の消費増税に伴うキャッシュレスに対するポイント制度が終わった後から、マイナンバーカードの取得率を上げるための対策として、マイナンバーカード取得している方がマイナポイントというポイントを受ける制度が始まる予定である。マイナンバーカードの普及促進のための国としての政策である。

《記者からの質問》

市としては、今回の臨時窓口は、それをにらんだものではないのか。

《回答》（民生部長）

市としては、ほとんどの方にマイナンバーカードを持ってもらうという国策にしたがって、普及促進のために土曜開庁という形で普及促進に努めるものである。

《記者からの質問》

先ほど円滑化計画を提出するとありましたが、いつ提出したのか。

《回答》（民生部長）

正しくは「マイナンバーカード交付円滑化計画」となります。提出は10月となります。